

[ 成果情報名 ] 「させば温州」の結果母枝の形質と果実品質

[ 要約 ] 「させば温州」は、高接ぎ樹では短い結果母枝の割合が高く、若齢樹は長い結果母枝の割合が高い。連年高品質果実を生産している優良園では、結果母枝の長さが 10 cm 以下となるものが多く、その基部径は 2 ~ 5 mm 程度である。また、果実糖度は高接ぎ樹が若齢樹より高い。

[ キーワード ] させば温州、高接ぎ樹、結果母枝、若齢樹

[ 担当 ] 長崎果樹試・常緑果樹科

[ 連絡先 ] 電話 0957-55-8740、電子メール t.furukawa@pref.nagasaki.lg.jp

[ 区分 ] 九州沖縄農業・果樹

[ 分類 ] 指導

-----  
[ 背景・ねらい ]

現地の優良園で栽培されている「させば温州」について、結実状態の実態調査を行い、結果母枝形質と果実品質との関係を明らかにする。

[ 成果の内容・特徴 ]

1. 結果母枝長の長さ別割合は、若齢樹は高接ぎ樹に比べ 10 cm 以上の長い結果母枝が多いのに対して、高接ぎ樹は、10 cm 未満の結果母枝が多い ( 図 1、図 2、図 3 )。
2. 果実品質が優れる「させば温州」を連年結果している園の樹は、結果母枝径は 2 ~ 5 mm で結果母枝長が 10 cm 程度までの長さのものが多く ( 図 4 )。
3. 結果母枝径は有葉果で 4 枚以上が最も大きく、次いで有葉果で 3 枚まで、直花果をもつ結果母枝は最も小さい。また結果母枝径は、若齢樹より高接ぎ樹が小さい ( 表 1 )。
4. 果実品質については、着葉数が増加すると果実重は大きく、着葉数がない直花果は果実が小さく果実糖度がやや高くなる。( 表 1 )。

[ 成果の活用面・留意点 ]

1. 初結果樹は、長い結果母枝群が多いが樹齢が進むと短くなる。

[ 具体的データ ]

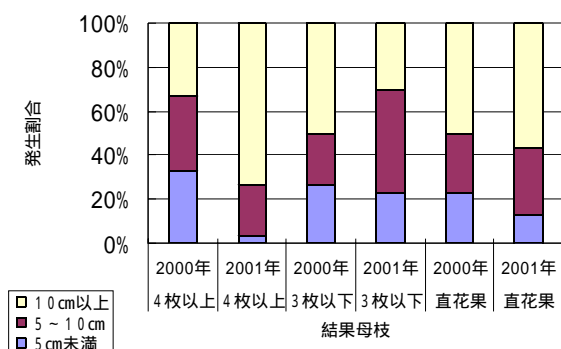


図 1 着葉数と結果母枝の長さ別割合  
佐世保市・若齢樹 7 ~ 8 年生

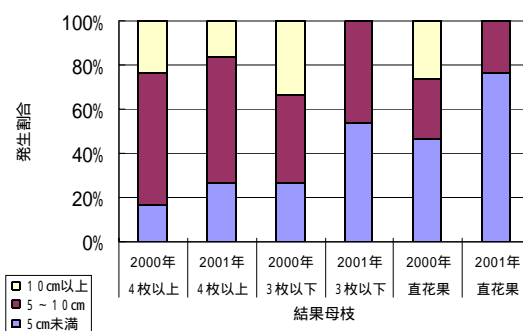


図 2 着葉数と結果母枝の長さ別割合  
佐世保市・高接ぎ 5 ~ 6 年生

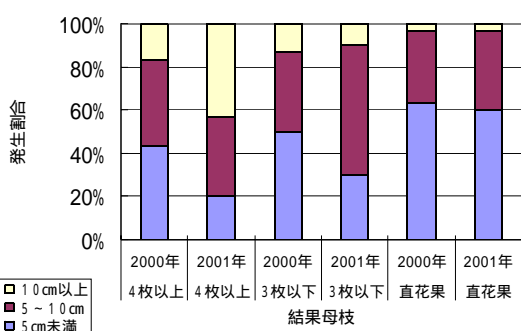


図 3 着葉数と結果母枝の長さ別割合  
佐世保市・高接ぎ 12 ~ 13 年生

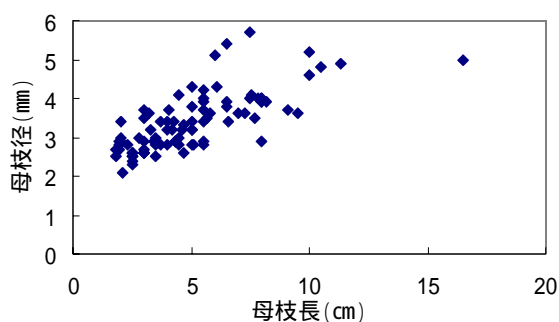


図 4 高接ぎ 6 年生樹における結果母枝長  
と結果母枝径の関係  
佐世保市・高接ぎ 6 年生

表 1 「させば温州」の着葉数別の結果母枝の形質と果実重、糖度

調査園	区分 (着葉数)	2000 年			2001 年			
		結果母枝長 (cm)	果実重 (g)	糖度 (brix)	結果母枝長 (cm)	結果母枝径 (mm)	果実重 (g)	糖度 (brix)
若齢樹 7 ~ 8 年生 (江上町)	有葉果で 3 枚以下	11.1	164.5	12.9	11.6	4.2	103.5	13.7
	有葉果で 4 枚以上	9.0	190.7	12.8	12.7	5.2	148.0	13.0
	直花果	10.2	101.8	13.3	11.7	4.1	100.6	13.2
高接ぎ 12 ~ 13 年生 (江上町)	有葉果で 3 枚以下	5.4	97.4	15.5	6.4	3.7	90.1	15.1
	有葉果で 4 枚以上	6.4	107.5	15.4	8.5	4.2	110.8	14.8
	直花果	4.2	79.0	16.0	4.5	3.4	85.6	15.1
高接ぎ 5 ~ 6 年生 (針尾町)	有葉果で 3 枚以下	7.9	103.3	14.0	4.9	3.4	100.0	14.8
	有葉果で 4 枚以上	7.3	120.2	14.1	7.0	3.9	113.5	14.8
	直花果	7.0	79.8	14.6	3.8	3.0	81.3	15.1

[ その他 ]

研究課題名 : 「させば温州」の早期樹冠拡大と高品質果安定多収技術  
 予算区分 : 県単 (平成 11 ~ 15 年)  
 研究期間 : 平成 14 年度  
 研究担当者 : 古川 忠、高見寿隆、山下義昭、今村俊清  
 発表論文など : 長崎県試験研究普及実績発表会  
 平成 14 年度長崎県果樹試験場業務報告